

平成 22 年度 事業報告書

 財団法人 札幌市環境事業公社

目 次

I	平成 22 年度事業の総括	3
II	調査啓発事業	
1	調査研究事業	4
2	普及啓発事業	4
III	資源化事業	
1	剪定枝等処理事業	5
2	ごみ資源化工場施設管理事業	6
3	びん・缶・ペットボトル選別事業	8
4	中沼プラスチック選別センター施設管理事業	10
5	中沼雑がみ選別センター施設運営管理事業	12
6	札幌市リサイクル団地管理事業	13
7	大型ごみ収集センター管理運営事業	14
8	不燃用プリペイド袋リサイクル事業	15
IV	収集運搬事業	
	事業系ごみ収集運搬事業	16

I 平成 22 年度事業の総括

財団法人札幌市環境事業公社は、札幌市の都市環境の維持・保全に資する資源循環型社会の推進を図ることを基本理念に、札幌市の廃棄物処理行政の一翼を担う公益法人（特例民法法人）として、事業系ごみを中心に廃棄物の安定的かつ効率的な適正処理を図るとともに、これらの廃棄物の分別・リサイクルの推進による多分別収集に向けた取り組みにおいて、中核的な役割を果たしている。

その中でも札幌市内全域で3万件を超す事業所が排出する一般廃棄物等の収集運搬を一元的に行っている当公社では、16万8千tの事業系ごみを的確に収集運搬した。併せて、各事業者に対して、ごみ減量・リサイクル推進に向けた普及啓発を積極的に展開し、平成22年度は、生ごみリサイクルの取組みとして、22,389tを飼料や堆肥の原料として分別収集したのをはじめ、資源化ごみで12,203t、不燃用プリペイド袋リサイクルで2,441t、びん・缶・ペットボトルで1,975t、剪定枝で95tの分別収集を行った。

その結果、前年度比1.4%（重量比）のごみの減量と、平成22年度ごみ総収集量に対するリサイクルごみ収集量で算出するリサイクル率は23%を維持し、札幌市が定めた「スリムシティさっぽろ計画」の重点施策である事業者による自主的な資源化の促進に大いに貢献した。

一方、当公社が札幌市から施設管理及び選別業務等を受託している「びん・缶・ペットボトル」、「容器包装プラスチック」、「雑がみ」は、前年度比16%の増加傾向にあるが、選別施設の運転時間の延長や土日稼働など、柔軟な運転体制により円滑な処理に努めた。

平成22年度における事業を総括すると、長引く景気低迷の影響から、事業系ごみの排出事業者のごみ処理経費への削減がさらに高まったことなどにより、ますます厳しい経営環境での事業実施を余儀なくされたが、事業全般を通じた経営努力により、安定した事業運営ができた。

平成23年度は、先の東日本大震災が経済活動に及ぼす影響も加わり、より厳しい環境での事業運営が想定されることとともに、当公社が将来ともに安定した形で公益的役割を維持するための重要な基礎固めとなる新公益法人への移行に向けた準備を加速させる時期に当たるため、これら厳しい実状を踏まえつつ、当公社が担うべき社会的役割を適切に果たしてまいりたい。

Ⅱ 調査啓発事業

決算額 25,289,392 円

1 調査研究事業

(1) 資源ごみの組成等調査

平成21年7月から家庭系ごみが有料化されたことに伴い、無料収集である資源ごみの収集量や性状が変化すると予想され、選別施設にどのように影響を与えるか懸念されたことから、びん・缶・ペットボトル、容器包装プラスチックの組成調査を実施した。

資源ごみの組成調査では、これまでの傾向と大きな差はなく、平成22年度の収集量は有料化実施前の平成20年度に比べて、びん・缶・ペットボトル(家庭系)では23.0%増加、容器包装プラスチックでは36.7%増加したが選別施設の運転時間の延長や土日稼働など柔軟な運転体制により適切に処理することができた。

今後、収集量の増加やごみ質の変化等により選別施設への影響が生じる可能性もあるため引き続き組成調査等を実施する。

(2) 新たな固形燃料(RPF)の製造等の調査研究

家庭系ごみの有料化に伴って分別収集が開始された雑がみには、リサイクルすることが難しい防水加工されたものや臭いのあるもの等が混入し、排出用ごみ袋等とともに雑がみ選別センターから残さとして排出される。これらは紙と軟質プラスチックの混合物であり、固形燃料の原料として活用できることから、残さを原料としたRPFの製造試験及び燃焼試験を1年間に亘り行った。その結果、現状のRDF製造プラント及び利用先である北海道地域暖房棟において問題がないことが確認された。

なお、木くずの搬入量は年々減少傾向にあり、季節変動も大きいことから、木くず、紙くず、軟質系プラスチックの混合比率の工夫を重ね固形燃料の品質を維持しながら生産し、調査研究を進めた。

2 普及啓発活動

市民や顧客に対して、公社事業の理解促進に向け、ホームページや各種イベントを通して普及啓発活動を行った。

(1) 公社概要等の発行

ア 公社の事業方針、事業内容及び実績を取りまとめた事業概要250部を平成22年8月に発行し関係機関や市民へ配布した。

イ 公式ホームページを通して、公社事業に係る最新情報の発信を行った。

ウ 排出事業所のごみの分別やリサイクルに関する取組み、及びペットボトルのリサイクル施設を紹介した情報誌「アンパス第9号」8,500部を平成23年3月に発行し排出事業所や市民に配布した。

エ ごみの減量やリサイクルの推進を図るため、各雑誌・新聞等による広報を行った。

(2) 各種イベントへの参加

ア 平成22年7月30日～8月1日までアクセスサッポロで開催された未来の地球とエネルギーを考える環境総合展である「環境広場さっぽろ2010」へ出展し、事業系ごみ収集運搬事業・資源化事業・調査啓発事業に関して各種情報誌やパネル等の展示を行った。

イ 「第19回YOSAKOIソーラン祭り」、「第57回さっぽろ夏まつり」、「ミニさっぽろ2010」、「かんきょうみらいカップ2010」、「第31回すすきの氷の祭典」、「ミュンヘン・クリスマス市」、「第62回さっぽろ雪まつり」等のイベントに協賛した。

Ⅲ 資源化事業

決算額 941,804,894 円

1 剪定枝等処理事業

(決算額 51,569,337 円)

平成20年10月から実施している当社の自主事業で、公園や街路樹等から発生した剪定枝、伐採木等を破碎して、リサイクル業者及び酪農家に販売し、堆肥や畜舎の敷きわら等に利用されている。

(1) 処理実績

平成22年度の剪定枝等受入量は、計画量4,500tに対して5,349tと前年度に比べて1.8%増加した。

受入た剪定枝等は、篠路資源化センターのチップ工場破碎施設で約45mmの大きさにチップ化された。

剪定枝等チップの出荷量は、計画量4,400tに対して4,822tで、堆肥製造業者等に出荷した。

【表-1 平成22年度 剪定枝等の処理実績表】

(単位：t)

	剪定枝受入量	チップ出荷量
4月	86	166
5月	255	181
6月	319	261
7月	596	386
8月	695	452
9月	812	527
10月	1,036	519
11月	715	521
12月	430	573
1月	51	512
2月	111	453
3月	243	271
合計	5,349	4,822

(2) 受入業務

剪定枝等の搬入者から受入料金、及びリサイクル業者等への販売料金を徴収する業務を行った。

ア 業務日	日曜日及び1月1日～3日を除く毎日
イ 業務時間	8時00分～17時00分
ウ 料金	受入料金 119.7 円/10kg 販売料金 500 円/ t (大口販売先 200 円/ t)

2 ごみ資源化工場施設管理事業

(決算額 55,389,615 円)

ごみ資源化工場の運転・運搬業務の管理業務、及び搬入ごみの計量業務を含む施設の運営を統括管理する「ごみ資源化工場施設管理業務」を札幌市からの受託事業として実施した。

(1) ごみ資源化工場管理業務

札幌市の処理計画に基づき、ごみ資源化工場に搬入される木くず、紙くずなどの資源化ごみから不適物を除去し、ごみ種ごとに選別破碎後、圧縮成形して固形燃料を生産した。

平成22年度のごみ受入量は、木くず・紙くず・廃プラスチック・雑がみ残さ共に減少傾向を示し、計画量32,000tに対して25,468tと、前年度に比べ13.8%減少した。受入量の内訳は、木くずが2,452t、紙くずが13,230t、廃プラスチックが961t、雑がみ残さが8,825tであった。

固形燃料の出荷量は、計画量24,000tに対して出荷量は22,695tであった。

平成22年度は、紙くずの在庫が増えたことから、紙くず主体の固形燃料の生産を一定期間行い、在庫調整を図った。生産した固形燃料は、北海道地域暖房㈱と王子製紙㈱に出荷した。

また、木くずについては、札幌市が導入した自走式破碎機でチップ化を行い、燃料チップを1,948t生産した。生産した燃料チップは、北海道地域暖房㈱と㈱北海道熱供給公社に出荷した。なお、木くずのチップ化は平成22年度で終了した。

(2) 計量及びごみ処理手数料徴収業務

ごみ処理手数料をごみ搬入者から徴収する業務を行った。

ア 業務日	日曜日及び1月1日～3日を除く毎日
イ 業務時間	8時00分～17時00分
ウ ごみ処理手数料等	一般廃棄物処理手数料： 110円/10kg 産業廃棄物処分費用： 110.2円/10kg

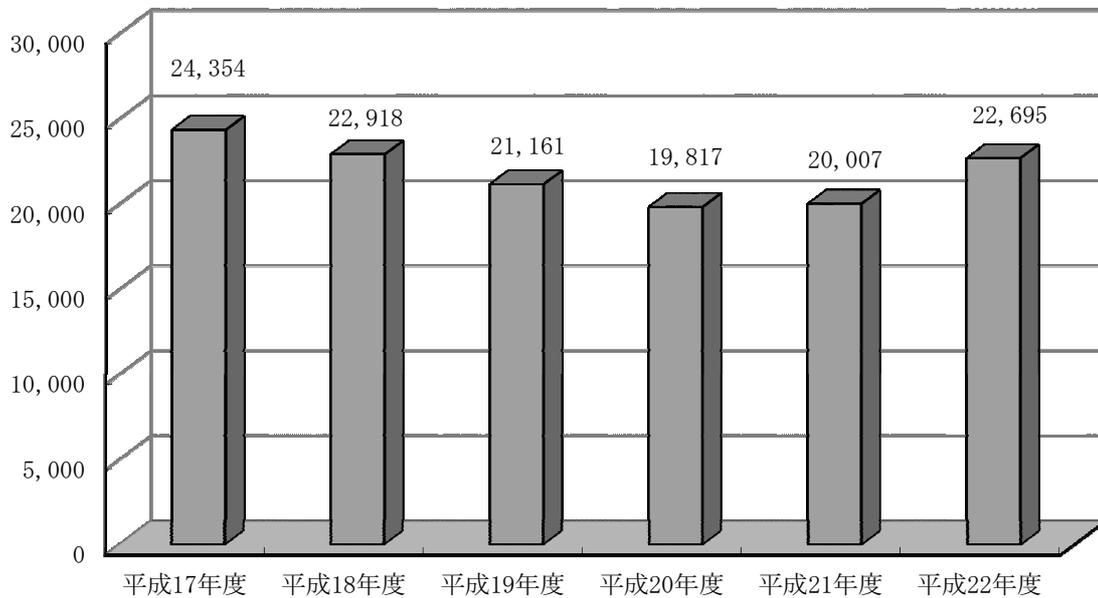
【表-2 平成22年度 ゴミ資源化工場処理実績表】

(単位：t)

	ゴミ受入量	固形燃料出荷量	燃料チップ出荷量
4月	2,765	2,248	0
5月	2,139	1,272	20
6月	2,279	1,028	209
7月	2,511	1,160	230
8月	2,055	1,383	173
9月	1,965	644	313
10月	2,089	1,283	245
11月	1,937	2,298	323
12月	2,291	2,767	251
1月	1,733	2,665	15
2月	1,691	2,862	0
3月	2,013	3,085	169
合計	25,468	22,695	1,948

《グラフ-1 年度別固形燃料出荷量》

(単位：t)



3 びん・缶・ペットボトル選別事業

(決算額 719,981,527円)

札幌市が平成10年10月から分別収集を開始している家庭系資源物（びん・缶・ペットボトル）と、当公社が収集している事業系資源物の選別を行うため、当公社が中沼のリサイクル団地と駒岡清掃工場隣接地に建設した両資源選別センターで、これら資源物の選別業務を札幌市からの受託事業及び自主事業として実施している。

中沼資源選別センターでは、札幌市が平成21年7月から「燃やせるごみ・燃やせないごみ」を有料化したことで増加傾向となった家庭系資源物に対応するため、二交代制による運転を実施するとともに、繁忙期においては、搬入量などについて中沼と駒岡の両資源選別センターで調整を図りながら、資源物のより効率的な処理を行っている。

平成22年度の資源物の全体搬入量は37,132t（家庭系34,738t、事業系2,394t）であり、選別搬出された資源物はびん類10,133t（白びん4,017t、茶びん3,666t、その他びん2,450t）、缶類7,066t（アルミ缶3,381t、スチール缶3,685t）、ペットボトル7,262tであった。

選別された資源物は、次のようにリサイクルを図った。

- (1) びん類については、白・茶・その他びんとも、家庭系(市)のものは指定法人ルートで再商品化事業者へ、事業系(公社)のものはリサイクル事業者へ引き渡し、それぞれ再生利用を図った。
- (2) 缶類については、家庭系及び事業系ともに、リサイクル事業者へ引き渡し再生利用を図った。
- (3) ペットボトルについては、家庭系のものは指定法人ルートで再商品化事業者へ、事業系のものはリサイクル事業者へ引き渡し再生利用を図った。

なお、駒岡資源選別センターの「手選別業務」については、知的障がい者に雇用の場を提供するために福祉団体に業務を委託している。

【表-3 平成22年度 びん・缶・ペットボトル選別センター選別実績総括表】

(単位：t)

	受 入 量			搬 出 量										
	札幌市	公社	計	びん類				缶類			ペットボトル	可燃物(袋類)	不燃物残さ	合計
				白	茶	その他	小計	アルミ	スチール	小計				
4月	2,717	202	2,919	307	260	209	776	249	307	556	555	321	495	2,703
5月	2,722	192	2,914	310	285	183	778	267	320	587	574	342	489	2,770
6月	3,023	210	3,233	320	293	186	799	264	291	555	601	322	409	2,686
7月	2,959	222	3,181	346	326	179	851	276	298	574	670	337	402	2,834
8月	3,122	234	3,356	345	335	192	872	326	311	637	754	374	431	3,068
9月	3,036	214	3,250	325	341	179	845	341	319	660	780	388	465	3,138
10月	2,571	189	2,760	321	297	196	814	268	303	571	606	358	443	2,792
11月	2,752	195	2,947	361	322	215	898	292	323	615	592	401	469	2,975
12月	3,130	210	3,340	371	310	207	888	272	304	576	544	387	455	2,850
1月	3,142	167	3,309	355	305	291	951	295	308	603	539	464	455	3,012
2月	2,591	172	2,763	299	286	196	781	254	284	538	485	328	355	2,487
3月	2,973	187	3,160	357	306	217	880	277	317	594	562	366	407	2,809
合計	34,738	2,394	37,132	4,017	3,666	2,450	10,133	3,381	3,685	7,066	7,262	4,388	5,275	34,124
比率	93.6%	6.4%	100.0%	11.8%	10.7%	7.2%	29.7%	9.9%	10.8%	20.7%	21.3%	12.9%	15.5%	100.0%

【表-4 平成22年度 びん・缶・ペットボトル選別センター別選別処理実績表】

中沼資源選別センター

(単位：t)

	受入量			搬出量										
	札幌市	公社	計	びん類				缶類			ペットボトル	可燃物(袋類)	不燃物残さ	合計
				白	茶	その他	小計	アルミ	缶	小計				
4月	1,741	152	1,893	193	159	115	467	166	215	381	367	247	264	1,726
5月	1,742	145	1,887	210	192	105	507	175	216	391	391	266	248	1,803
6月	1,991	157	2,148	210	194	108	512	177	196	373	398	246	181	1,710
7月	2,092	168	2,260	232	221	119	572	188	203	391	466	262	187	1,878
8月	2,188	181	2,369	246	244	127	617	230	224	454	532	302	218	2,123
9月	2,136	167	2,303	236	250	117	603	248	233	481	569	321	277	2,251
10月	1,712	149	1,861	221	209	126	556	191	218	409	434	292	254	1,945
11月	1,844	151	1,995	261	229	150	640	208	237	445	426	328	252	2,091
12月	2,183	162	2,345	265	219	135	619	189	212	401	386	312	219	1,937
1月	2,203	133	2,336	250	218	208	676	217	223	440	391	398	229	2,134
2月	1,688	143	1,831	207	196	115	518	172	200	372	330	259	166	1,645
3月	2,009	154	2,163	253	222	144	619	193	225	418	399	296	209	1,941
合計	23,529	1,862	25,391	2,784	2,553	1,569	6,906	2,354	2,602	4,956	5,089	3,529	2,704	23,184
比率	92.7%	7.3%	100.0%	12.0%	11.0%	6.8%	29.8%	10.2%	11.2%	21.4%	22.0%	15.2%	11.7%	100.0%

駒岡資源選別センター

(単位：t)

	受入量			搬出量										
	札幌市	公社	計	びん類				缶類			ペットボトル	可燃物(袋類)	不燃物残さ	合計
				白	茶	その他	小計	アルミ	缶	小計				
4月	976	50	1,026	114	101	94	309	83	92	175	188	74	231	977
5月	980	47	1,027	100	93	78	271	92	104	196	183	76	241	967
6月	1,032	53	1,085	110	99	78	287	87	95	182	203	76	228	976
7月	867	54	921	114	105	60	279	88	95	183	204	75	215	956
8月	934	53	987	99	91	65	255	96	87	183	222	72	213	945
9月	900	47	947	89	91	62	242	93	86	179	211	67	188	887
10月	859	40	899	100	88	70	258	77	85	162	172	66	189	847
11月	908	44	952	100	93	65	258	84	86	170	166	73	217	884
12月	947	48	995	106	91	72	269	83	92	175	158	75	236	913
1月	939	34	973	105	87	83	275	78	85	163	148	66	226	878
2月	903	29	932	92	90	81	263	82	84	166	155	69	189	842
3月	964	33	997	104	84	73	261	84	92	176	163	70	198	868
合計	11,209	532	11,741	1,233	1,113	881	3,227	1,027	1,083	2,110	2,173	859	2,571	10,940
比率	95.5%	4.5%	100.0%	11.3%	10.2%	8.1%	29.5%	9.4%	9.9%	19.3%	19.9%	7.9%	23.5%	100.0%

4 中沼プラスチック選別センター施設管理事業

(決算額 25,857,130円)

札幌市から「中沼プラスチック選別センター施設管理業務」を受託し実施した。

当該業務は、中沼プラスチック選別センターの運転業務、残さ運搬業務の総括管理業務と、「容器包装リサイクル法」に基づき、一般家庭より分別収集されたプラスチックごみのリサイクルを図るため、国が定める分別基準に適合するように、受入・選別・圧縮・保管・運搬等に係る管理・調整業務、及び選別・圧縮梱包された容器包装プラスチック（ベール）を再商品化事業者等に引き渡す業務が主体となっている。

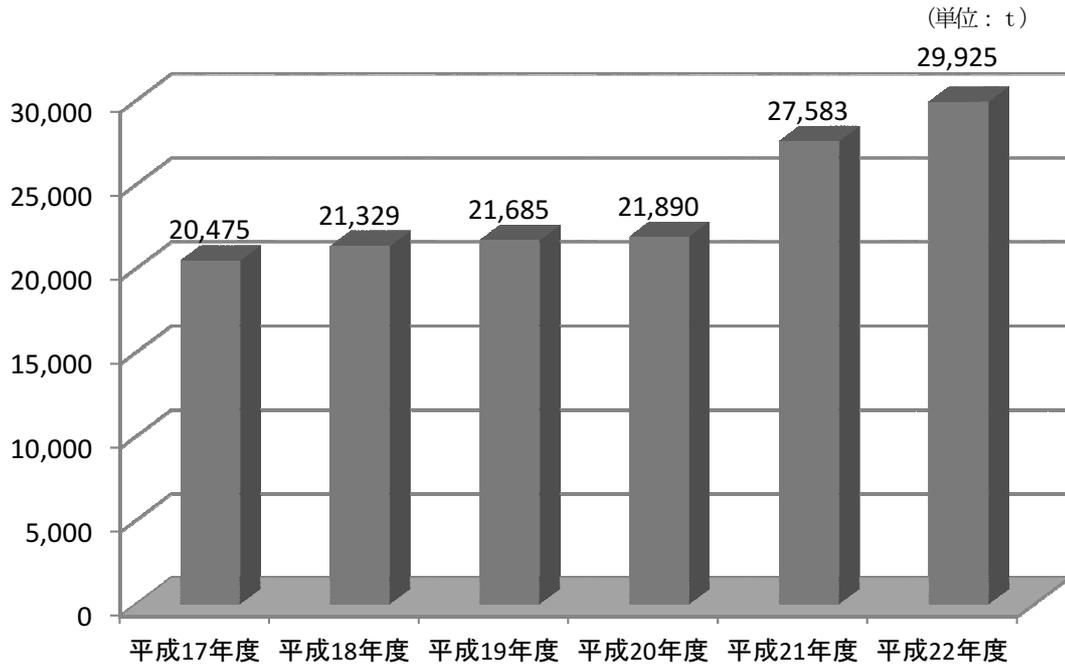
平成22年度のプラスチックごみ搬入量は29,925tで、前年度に比べ8.5%の増加となった。また、選別後に圧縮梱包されて再商品化事業者等に引き渡されたベールは26,343tで前年度に比べ7.3%の増加となった。

【表-5 平成22年度 中沼プラスチック選別センター処理実績表】

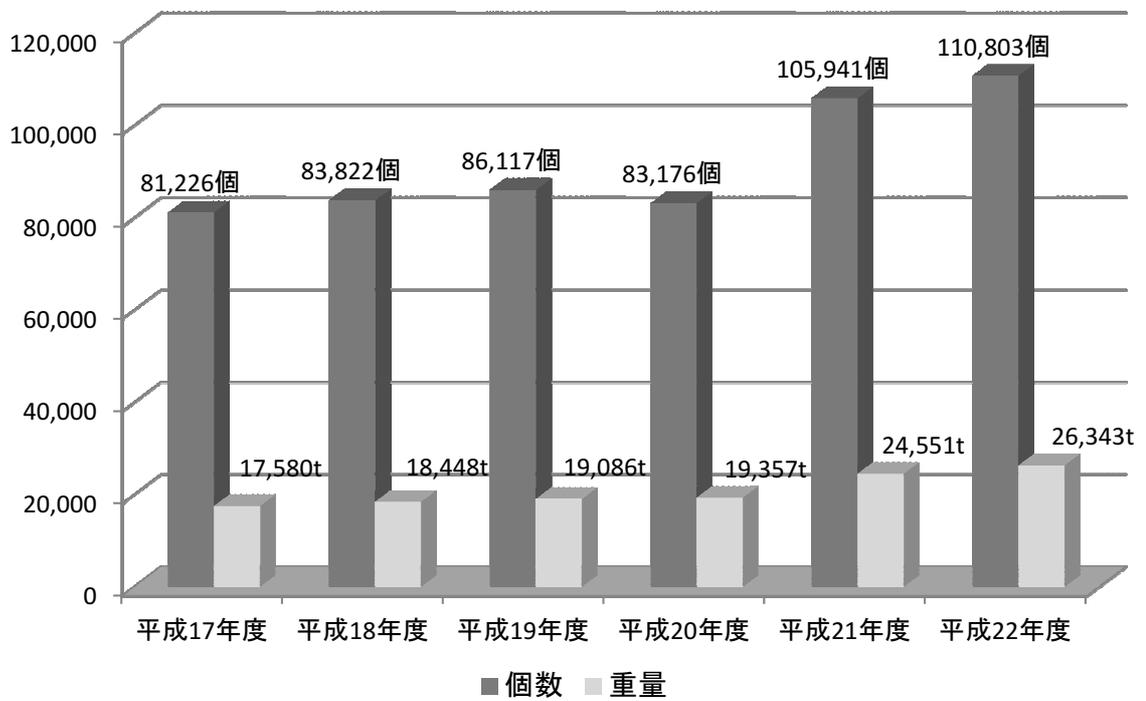
(単位：t)

	受入量	ベール		残さ等搬出量		
		引渡量	引渡数(個)	可燃	不燃	ペットボトル
4月	2,508	2,139	9,272	44	25	6
5月	2,412	2,185	8,896	41	25	5
6月	2,518	2,236	8,628	38	22	6
7月	2,476	2,346	8,926	40	23	6
8月	2,472	2,203	8,366	38	22	6
9月	2,414	2,096	8,474	40	20	6
10月	2,264	2,142	9,102	44	24	5
11月	2,506	2,137	9,032	39	23	5
12月	2,705	2,343	10,660	45	30	5
1月	2,742	2,199	10,074	40	35	6
2月	2,267	1,860	8,396	33	25	5
3月	2,641	2,457	10,977	46	30	5
合計	29,925	26,343	110,803	488	304	66

《グラフ-2 年度別プラスチックごみ受入量》



《グラフ-3 年度別ベール引渡量》



5 中沼雑がみ選別センター施設運営管理事業

(決算額 12,600,024 円)

札幌市から「中沼雑がみ選別センター施設運営管理業務」を受託し実施した。

当該業務は、中沼雑がみ選別センターの運転業務、残さ運搬業務及び手選別業務の総括管理業務と、一般家庭より分別収集された雑がみを、受入・選別・圧縮梱包・保管・運搬等の各業務に係る管理・調整業務、及び圧縮梱包された主要古紙（Aベール）と雑がみ（Bベール）を再商品化事業者へ引き渡す業務が主体となっている。

なお、中沼雑がみ選別センターの不適物を取り除く「手選別業務」については、知的障がい者の雇用を促進するために札幌市が福祉団体に業務を委託している。

平成 22 年度は 21,543 t の雑がみの受入を行った。また、選別後に圧縮梱包された A ベール 4,028 t と B ベール 12,212 t を再商品化事業者へ引き渡した。

【表-6 平成 22 年度 中沼雑がみ選別センター処理実績表】

(単位：t)

	受入量	ベール引渡 量						残さ 搬出量
		Aベール		Bベール		合 計		
		重量	個数 (個)	重量	個数 (個)	重量	個数 (個)	
4 月	2,012	409	550	1,114	1,210	1,523	1,760	627
5 月	1,737	375	484	874	968	1,249	1,452	488
6 月	1,784	345	440	756	836	1,101	1,276	473
7 月	1,694	333	396	776	807	1,109	1,203	499
8 月	1,607	337	374	873	880	1,210	1,254	339
9 月	1,654	367	440	1,079	1,100	1,446	1,540	336
10 月	1,527	281	330	933	922	1,214	1,252	288
11 月	1,750	306	352	1,030	1,024	1,336	1,376	324
12 月	2,437	410	506	1,359	1,340	1,769	1,846	382
1 月	1,695	316	396	1,267	1,240	1,583	1,636	365
2 月	1,497	266	330	969	960	1,235	1,290	283
3 月	2,149	283	352	1,182	1,200	1,465	1,552	347
合計	21,543	4,028	4,950	12,212	12,487	16,240	17,437	4,751

6 札幌市リサイクル団地管理事業

(決算額 16,092,343 円)

札幌市から「札幌市リサイクル団地管理業務」を受託し実施した。

札幌市リサイクル団地は、廃棄物の減量・リサイクルを総合的に推進するモデル的な廃棄物処理施設の集合体として計画され、札幌市が基盤整備を行い、処理施設は、民間処理業者・第3セクター・札幌市の3事業主体が、それぞれ建設・運営を行っている。

(1) 業務内容

- ア リサイクル団地の連絡調整等業務
- イ リサイクル資料館・ふれあいホールの維持管理業務
- ウ 井水供給設備の維持管理業務
- エ リサイクル団地内の市道の点検、清掃、除排雪業務
- オ その他管理業務

(2) 業務期間

平成22年4月1日～平成23年3月31日

(3) 業務場所

札幌市東区中沼町45番地 札幌市リサイクル団地

(4) 見学者実績

平成22年度のリサイクル団地の見学者実績は見学件数109件、見学者数4,479人であった。

【表-7 平成22年度 リサイクル団地見学者実績】

	見学件数	見学者数
4月	2件	56人
5月	3件	175人
6月	13件	587人
7月	14件	637人
8月	13件	550人
9月	24件	983人
10月	23件	1,091人
11月	11件	272人
12月	5件	84人
1月	1件	44人
2月	0件	0人
3月	0件	0人
合計	109件	4,479人

7 大型ごみ収集センター管理運営事業

(決算額 15,603,056 円)

札幌市の大型ごみは、平成9年10月からそれまでのステーション方式から電話申込みによる戸別収集に切り替え、平成10年1月から有料制を導入した。

当社は、平成11年4月1日から大型ごみ収集センターの管理運営業務を札幌市から受託し実施している。

- (1) 業務内容 大型ごみ、リサイクル品の収集受付及び総括調整
- (2) 業務時間 8時30分～17時00分
- (3) 業務日 土・日曜日及び年末年始を除く毎日
- (4) 業務場所 札幌市中央区大通西2丁目 NTT大通2丁目ビル5F
- (5) 平成22年度実績
 - ア 収集量 10,410 t
 - イ 受付件数 468,664 件
 - ウ 収集件数 307,727 件
 - エ 収集個数 734,069 個

【表-8 平成22年度 業務実績】

	収集量(t)	受付件数	収集件数	収集個数
4月	1,081	46,076	32,361	72,194
5月	842	41,035	24,771	65,801
6月	890	41,009	27,162	64,184
7月	915	39,957	27,641	60,880
8月	863	44,241	25,533	68,716
9月	1,058	44,447	31,042	70,432
10月	981	44,060	29,147	70,207
11月	923	44,282	26,812	71,456
12月	945	39,020	28,729	57,353
1月	486	22,279	15,644	30,541
2月	483	23,274	14,326	35,264
3月	943	38,984	24,559	67,041
合計	10,410	468,664	307,727	734,069

【表-9 収集品目大分類内訳】

大 分 類	個 数	割 合
電気・ガス・石油・ちゅう房機器	103,990	14.2 %
家具・寝具・建具	414,587	56.5 %
趣味・スポーツ・レジャー用品	50,934	6.9 %
その他	164,558	22.4 %
計	734,069	100.0 %

【表-10 主な収集品目（上位10品目）】

順位	品 目	個 数	割 合
1	椅子	94,078	12.8 %
2	布団	70,999	9.7 %
3	衣装箱	55,332	7.5 %
4	カーペット	37,262	5.1 %
5	自転車	36,741	5.0 %
6	テーブル	31,456	4.3 %
7	スキー用具	25,618	3.5 %
8	ストーブ	20,515	2.8 %
9	ベット	20,128	2.7 %
10	テレビ台	18,435	2.5 %

8 不燃用プリペイド袋リサイクル事業

(決算額 44,711,862 円)

札幌市内の少量排出事業所から排出される不燃用プリペイド袋に混入しているびん・缶・ペットボトルなどのリサイクルを推進するため、篠路資源化センターに設置した手選別施設において、選別作業を実施した。

(1) 処理実績

平成 22 年度は不燃用プリペイド袋 2,440 t を受入し、23%に当たる 563 t のびん・缶・ペットボトルなどを選別してリサイクルを行った。

不燃用プリペイド袋に混入しているびん・缶・ペットボトルは選別後、中沼資源選別センターへ搬入して品目ごとに再選別、一斗缶等のその他金属はリサイクル業者へ売却、ビニール類等の軟質系プラスチック類は固形燃料の原料として再資源化を図った。

(2) 業務日

土・日曜日及び1月1日～3日を除く毎日

(3) 業務時間

8時00分～17時00分

(4) 資源物及び残さ運搬

コンテナ（フックロール）で運搬

【表-11 平成 22 年度 不燃プリペイド袋処理実績表】

(単位：t)

	受入量	資源物			残さ			合計
		びん・缶・ペット	その他金属	プラスチック類	可燃物	破砕	不燃物	
4月	230	35	12	4	182	17	6	256
5月	189	35	8	3	136	13	7	202
6月	215	38	9	3	161	14	6	231
7月	205	38	9	3	154	9	7	220
8月	206	40	10	4	151	14	8	227
9月	196	41	10	4	145	5	7	212
10月	188	35	6	3	144	10	8	206
11月	206	32	11	3	149	8	7	210
12月	242	32	7	3	184	9	6	241
1月	174	29	10	3	131	8	7	188
2月	174	30	4	3	120	6	7	170
3月	215	34	10	2	158	8	6	218
合計	2,440	419	106	38	1,815	121	82	2,581

IV 収集運搬事業

決算額 5,691,143,927 円

事業系ごみ収集運搬事業

事業系ごみの収集運搬事業は、全市域における事業系ごみの減量・リサイクルの推進を効率的かつ安定的に進めるために、平成6年4月より当公社が一元的に実施しており、これまでの総合的な取組みにより、平成22年度のごみ総収集量に対するリサイクルごみ収集量で算出するリサイクル率は23%となっている。

平成22年度のごみ収集量は、前年度比で1.4%の減少となっており、減少傾向が続いている。

「びん・缶・ペットボトル」のリサイクル事業においては、多量排出事業所が他業者に移行しているため、重量ベースで前年度より9.7%の減少となっている。

平成22年度の伝票収集による契約件数は9,328件、プリペイド袋収集による平成22年度末の契約件数は21,972件となっている。

平成22年度のごみ収集量の内訳は次のとおりとなっている。

1 ごみ収集量について

- (1) ごみ収集量は、重量ベースで 167,941 t と前年度 170,259 t に対して 1.4%の減少、容積ベースでは、1,066,399 m³ と前年度 1,100,703 m³ に対して 3.1%の減少となっている
- (2) その内訳としては、一般ごみ（可燃用プリペイド袋等を含む）は、128,838 t と前年度の 130,932 t に対して 1.6%の減少、剪定枝、紙くず類等を含む資源化ごみは、収集量 12,298 t で前年度の 13,967 t に対して 11.9%の減少、生ごみのリサイクルについては、収集量 22,389 t で前年度 20,550 t に対して 8.9%の増加となっている。
- (3) びん・缶・ペットボトルの収集量は、1,975 t で前年度 2,187 t に対して 9.7%の減少となっている。
- (4) 家庭系パソコンのリサイクルは、パソコン本体等 222 台、ブラウン管ディスプレイ等 77 台の合計 299 台であった。
- (5) 少量排出事業所からの不燃用プリペイド袋の分別収集量（びん・缶・ペットボトル等リサイクル）は、2,441 t と前年度 2,623 t に対して 6.9%の減少となっている。

2 生ごみリサイクルについて

生ごみは、飼料化リサイクルセンター及び石狩市内の生ごみリサイクル施設へ搬入しているが、新たに稼働する定山溪の生ごみリサイクル施設へも試験搬入を実施した。

搬入した生ごみは、それぞれ飼料や堆肥の原料としてリサイクルが行われた。

また、札幌市教育委員会の「さっぽろ学校給食フードリサイクル」への協力のため、164校で生ごみリサイクルを実施した。

3 剪定枝リサイクルについて

剪定枝、幹、根などの樹木は、当公社が運営するリサイクル施設に搬入し、平成22年度の収集量は95 t であった。

【表-12 平成22年度 ごみ収集量】

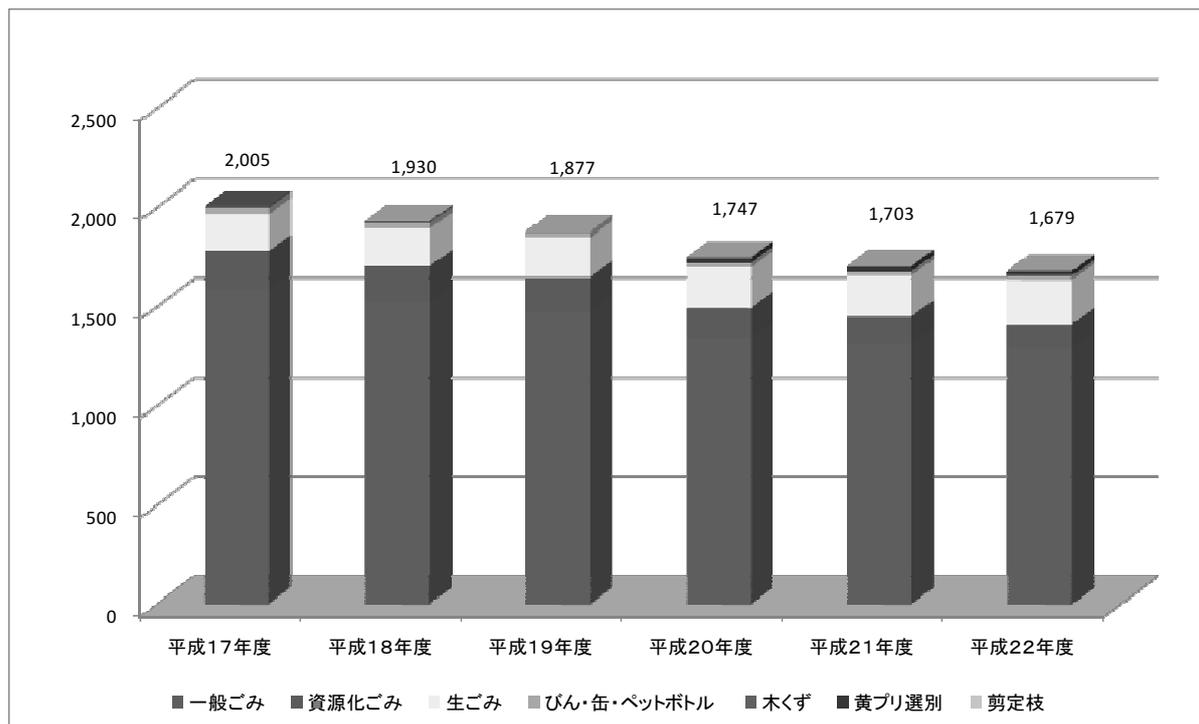
(単位：t)

	総重量	内 訳					
		一般ごみ	資源化ごみ	生ごみ	黄プリア選別	剪定枝	びん・缶・ペットボトル
4月	13,758	10,353	1,217	1,789	230	2	167
5月	13,677	10,388	932	2,005	189	6	157
6月	14,353	10,796	1,015	2,140	215	14	173
7月	14,858	11,882	1,029	1,551	205	8	183
8月	14,858	11,484	915	2,051	206	8	194
9月	14,100	10,795	945	1,980	196	10	174
10月	14,007	10,695	989	1,954	189	26	154
11月	14,006	10,830	976	1,821	206	11	162
12月	15,138	11,548	1,179	1,982	242	9	178
1月	12,920	10,162	900	1,547	174	0	137
2月	12,378	9,425	903	1,734	174	0	142
3月	13,888	10,480	1,203	1,835	215	1	154
合 計	167,941	128,838	12,203	22,389	2,441	95	1,975
平 均	13,995	10,737	1,017	1,866	203	8	165

※生ごみは平成9年度から収集開始

《グラフ-4 ごみ収集量（重量）の推移》

(単位：百t)



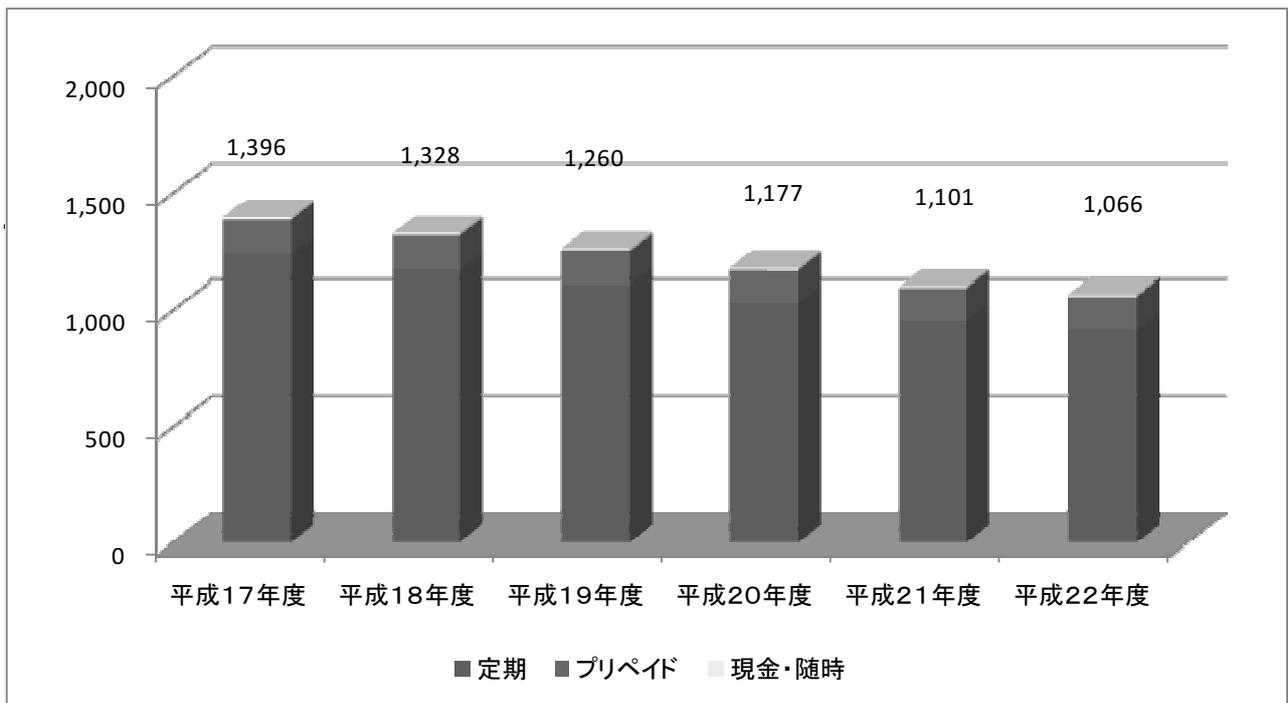
【表-13 平成22年度 排出先別件数とごみ量】

(単位：m3)

	定 期		随 時		現 金		引 越 等		プ リ ペ イ ド 袋		合 計	
	件 数	収 集 量	件 数	収 集 量	件 数	収 集 量	件 数	収 集 量	件 数	収 集 量	件 数	収 集 量
4月	9,328	78,474	101	261	131	112	65	191	21,839	12,258	31,464	91,296
5月	9,335	75,674	91	411	104	108	55	148	21,920	11,158	31,505	87,499
6月	9,367	77,483	122	1,105	134	130	53	148	22,022	12,019	31,698	90,885
7月	9,335	79,542	148	1,077	142	177	62	74	22,068	12,291	31,755	93,161
8月	9,340	78,272	99	246	206	224	54	134	22,133	12,188	31,832	91,064
9月	9,350	76,892	110	763	182	259	76	238	22,195	11,740	31,913	89,892
10月	9,337	78,052	94	263	145	108	59	114	22,238	11,667	31,873	90,204
11月	9,343	77,344	114	218	114	107	50	131	22,265	11,814	31,886	89,614
12月	9,348	81,971	106	458	140	90	71	114	22,263	12,883	31,928	95,516
1月	9,273	68,403	65	196	90	91	31	108	21,953	10,368	31,412	79,166
2月	9,271	67,834	84	461	82	78	25	31	21,956	10,369	31,418	78,773
3月	9,310	76,621	105	336	141	133	66	205	21,972	12,034	31,594	89,329
合 計	111,937	916,562	1,239	5,795	1,611	1,617	667	1,636		140,789		1,066,399
平 均	9,328	76,380	103	483	134	135	56	136		11,732		88,867

《グラフ-5 ごみ収集量（容積）の推移》

(単位：千m3)



4 プリペイド袋の販売

少量排出事業所向けに、収集運搬・処分料金を含んだプリペイド方式のごみ袋の販売を行っている。

平成22年度の販売数は340,505セットと昨年度実績280,517セットに対して21.4%増加した。これは、平成21年4月からのごみ処理料金改定に伴う2月から3月における駆け込み需要により、平成21年度の販売実績が減少していたことによるものである。

【表-14 平成22年度 プリペイド袋販売実績】

(単位：セット)

販 売 店	販 売 数	備 考
市 民 生 協	34,800	26店舗
セイコーマート	174,670	290店舗
すずらん物産	51,790	——
市庁舎販売店等	6,683	12店舗
商店街組合等	5,860	7団体
宅 配	60,960	佐川急便
公 社 直 販	5,742	営業社員持参等
計	340,505	

【表-15 年度別種類別プリペイド袋販売実績】

(単位：セット)

	20㍓		総販売数
	可燃	不燃	
平成22年度	9,477	265,960	340,505
平成21年度	7,809	215,779	280,517
平成20年度	8,457	337,878	438,017
平成19年度	4,679	289,275	355,763
平成18年度	4,445	238,951	293,778
平成17年度	8,749	373,846	470,578